

急変時等の患者受け入れ病院（バックアップ体制）のルール ～後方支援病院ネットワーク 病院リストの利用方法～

後方支援病院ネットワーク

在宅医療の提供が困難となった場合、
後方支援（入院受け入れ）をしてくれる病院のネットワーク

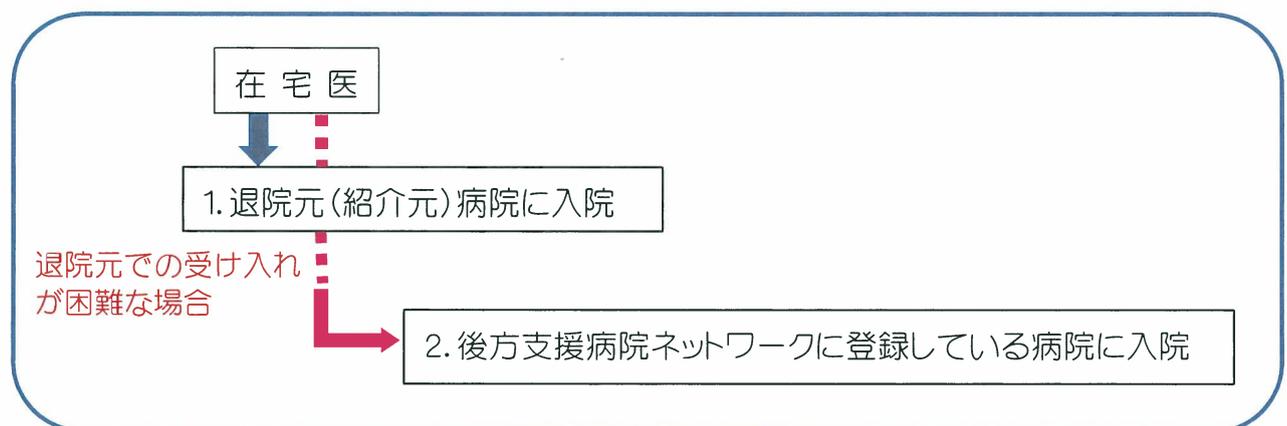
大分市内の 32 病院が参加

在宅医が「後方支援病院ネットワーク 病院リスト」から後方支援病院を選定し、受け入れを依頼する。

急変時等の対応のルール

1. 原則として、退院元（紹介元）の病院が受け入れる。
2. 退院元（紹介元）の病院での救急受け入れが困難な場合、在宅医が後方支援病院ネットワークの病院に病状等を告げ、了解を求め、後方支援病院が受け入れる。（電話で可）

○患者情報提供の際、できるだけ早急に「インフォームドコンセントに関する情報提供書」（別紙様式）を一緒に情報提供する。（Fax で可）



緊急性のない場合（レスパイト入院など）の対応

○在宅医が日頃の医療機関との関係（診・診連携、病・診連携）にて、受け入れを依頼する。